

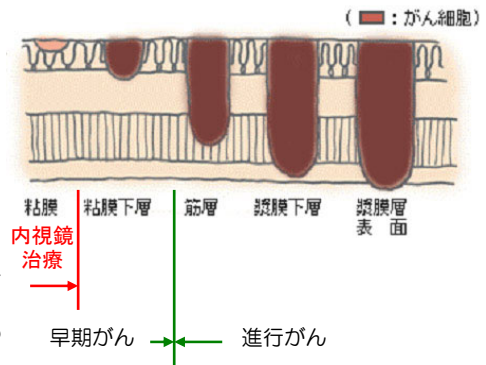
2009年2月3日発行

### 1.はじめに

大腸内視鏡検査でポリープなどの病気が見つかった場合、その場で切除することが可能です。その多くは腺腫と呼ばれる良性腫瘍ですが、早期の大腸がんでも内視鏡治療が可能な場合があります。今回は大腸がん(と腺腫)の内視鏡治療についてお話しします。

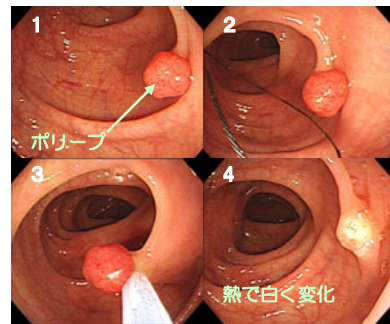
### 2.早期大腸がんと進行大腸がん

早期大腸がんとは、病変が「粘膜下層」までにとどまっているものを指します。「筋層」より深いものは進行がんと呼ばれます。早期がんのなかでも内視鏡治療の適応になるのは「粘膜」にとどまっているもので、リンパ節や他臓器などに転移している可能性が極めて低いと言われています。



### 3.ポリペクトミー

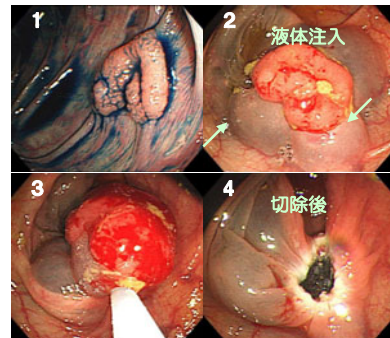
根元にくびれ(“茎”といいます)のある病変は「スネア」と呼ばれる金属の輪でそのくびれの部位をしめつけ、高周波電流を流すことで切除します。切除後の粘膜は熱により白く変化し、出血することはまれです。ほとんどの腺腫および隆起型の早期がんはこの方法で治療します。切除の際に痛みはありません。



### 4.内視鏡的粘膜切除術

(EMR: Endoscopic Mucosal Resection)

くびれない病変の場合、ポリペクトミーの手法ではスネアが滑ってうまくいきません。そこで、病変の深部に液体を注入(主に食塩水)し、人工的に「くびれ」を作成してスネアでしめつけます。大きな病変では、時に数回にわけて切除します。切除後はやや大きな傷が残るため、1-2日の入院が必要になることがあります。



### 5.内視鏡的粘膜下層剥離術

(ESD: Endoscopic Submucosal Dissection)

EMRの手法では完全に切除することが困難なほど大きな病変も時にあります。



液体を注入して病変を浮かせたあと、電

気メスで周囲を切開し、全体を剥離していく方法です。技術的に困難なため、当院では直腸など限られた部位に対してのみ行っています。1週間程度の入院が必要です。

## 5.よくある質問

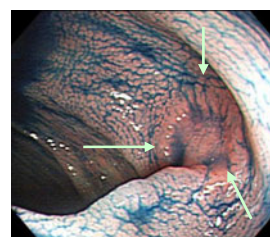
Q1：「ポリープ」があるといわれましたが、がんとは違うのでしょうか？

A1：隆起病変の総称で、多くは良性です。しかし約1割にがんが見つかります。

「ポリープ」とは隆起した病変の総称で、通常“茎”のあるものを指します。そのほとんどは「腺腫」とよばれる良性の腫瘍です。なかには「過形成性ポリープ」とよばれる治療を必要としないポリープもあります。

しかし、切除したポリープの組織検査を行うと、がんであることが判明することがあります。2007年に当院でポリペクトミーを行ったポリープのうち約1割ががんでした。ポリープが大きくなるほどがんである確率が高くなり、特に1cm以上のポリープはがんである可能性が高いと言われています。

大腸腫瘍の中には右の写真のように陥凹したものもあります。ポリープ型の病変に比べてサイズが小さくてもがんであることが多いと言われています（この病変はEMRで治療、粘膜にとどまる早期がんでした）。



Q2：内視鏡で切除できるかどうかはどうやって判断するのですか？

A2：視診でおおよその深達度が判断できます。最終的には組織検査の結果によります。

内視鏡切除で治療可能な大腸がんは粘膜内にとどまっているものに限られます。最近では粘膜下層に1mm程度まで浸潤しているものなら切除可能と言われています。実際にどの程度の深さまで浸潤しているかは組織検査を行ってはじめて明らかになります。

しかし、顔を見てその人の年齢がおおよそわかるように、慣れた内視鏡医であれば病変の「顔つき」をみておおよその進行度を推測することができます。判断に迷った場合、安全に切除できると判断すればまず内視鏡的に切除し、組織検査の結果をみて手術が必要かどうかを判断することもあります。

Q3：大腸ポリープを切除したら、その後の検査はどうすればよいですか？食事には気をつけた方がよいですか？

A3：半年～1年後再検査しましょう。食事での完全予防は出来ず、早期発見が重要。

切除した病変が腺腫であった場合、通常1年後の再検査をお勧めしています。がんであった場合は、半年後に再検査を行うようにしたほうがよいと思われます。内視鏡で治療できるうちにがんを発見するには、少なくとも2年ごとに大腸内視鏡検査をうけるのがよいと言われています。食事は脂っこいものを摂りすぎないようにするのがよいと思われますが、ポリープやがんの発生を完全に予防することはできません。がんの治療で最も大切なのは「早期発見・早期治療」です！

次回 第4回 大腸がん腹腔鏡手術

外科 津金恭司先生

2009年2月17日配付予定

この内容は、名古屋掖済会病院ホームページでもご覧頂けます。

えきさいかい

検索

講演会が  
あります

エキサイ健康教室 ～大腸癌の話～

消化器科医長 大橋 暁 先生 2009年2月19日(木) 14:00～ 救命センター4階講堂